

おわりに

この懇談会においては、雪は雪国の人々の生活に直接的な影響を及ぼすため、道路行政にかぎらず、雪国の特徴を考えた住宅、日常生活、産業支援、防災等の幅広い分野に関する議論がなされた。特に、雪国は、「たまる水」である雪を豊富に有する資源豊かな地域であることから、雪を新たなエネルギー資源として活用することの重要性についても多く触れた。

本提言では、冬期の道路交通確保を図ることに主眼をおき、道路行政に関係の深い部分について取りまとめた。本事業は、自治体等、様々な行政分野との係わり合いが深い事業であることから、今後は、道路行政間および様々な行政分野との連携はもとより、雪国地域の方々との密接な連携が必要である。また、雪国で生活する人だけでなく、雪国以外で生活する人を含めて雪に関する“公共意識”に基づいた行動が求められている。

最後に、今後の雪国においては、従来の行政の枠組みにとらわれることなく、また官と民が互いに連携を強化して、美しい雪国づくりが実現することを希望する。

付 録

「雪みち懇談会提言の実現に向けた具体策について」

アンケート結果

